

平成22年10月 5日
独立行政法人
日本原子力研究開発機構
敦賀本部

高速増殖原型炉もんじゅの炉内中継装置落下に係る状況について
(お知らせ)

高速増殖原型炉もんじゅは、燃料交換作業の後片付け作業中に発生した炉内中継装置の落下について原因調査等を進めております。

10月4日10時02分、原子炉機器輸送ケーシングによる原子炉容器から炉内中継装置の引抜き作業を開始いたしましたが、引抜きのためのグリッパの降下中、10時22分、現場操作盤において「荷重超過」の警報（グリッパ荷重の指示値の減少）が発生し、作業を中断しました。

【10月4日お知らせ済】

その後、10月4日20時42分、炉内中継装置を引抜くために降下させていたグリッパを、原子炉機器輸送ケーシング内の上限の位置まで上昇させました。

警報発報については、グリッパの2本のワイヤに設置している2つの荷重計の信号が加算処理された信号にノイズが重畳したことによるものと認められたことから、現在ノイズ対策について検討中です。今後、対策を実施し、改めて、炉内中継装置本体の引抜き作業に着手いたします。

以上